

1 2月の各学年の様子をご紹介します！

1 年生 生活でチューリップを植えました



これまで大切に育ててきたあさがお。枯れたつるを使ってクリスマスリースを作り、あさがおの学習を終えました。その鉢で、チューリップを育てます。植える前に、球根の観察をしました。「きゅうこんって、なに?」「にんにくみたいな形だ!」「においはしないよ。」「思ったより大きいな。」と、子供たちは興味津々。様々な感想をもち、よく見て観察することができました。

観察をしてから、チューリップを植えました。「大きく育ってね」「可愛く咲いてね」と声をかける様子が見られ、ほほえましく思いました。芽が出て花が咲くのが楽しみです。

2 年生 体育「縄跳び」



12月に入り、体育の授業では縄跳びが始まりました。短縄跳びでは、前跳び、後ろ跳び、駆け足跳び、あや跳び、二重跳び、長縄では、八の字跳びにチャレンジしています。体育の授業の他に、中休み、昼休みを利用して練習しています。寒さで教室に閉じこもりがちですが、2年生の子供たちは、元気いっぱい積極的に外に出て体を動かし、体力アップを図っています。縄跳びは、一度跳ぶだけで終わりではなく、何度も何度も縄を回し、継続して多くの回数を跳ぶ必要があります。学校から配布された「なわとびカード」を使って、色々な技に挑戦し、合格を目指して日々練習しています。このような「なわとびカード」があると、自分でどんどん新しい課題に挑戦することが出来ます。友達に回数を数えてもらったり、励ましの声をかけてもらったりしながら、それぞれの目的に向かって一生懸命取り組んでいます。嬉しそうに笑顔で縄跳びを楽しむ子供たち。これからも健康な身体を作ることや、全身を巧みに使って運動する力を伸ばしていきたいと思います。

3 年生 総合「広げよう！ぼくたち、わたしたちの世界」



12月1日に、総合的な学習の時間で最後の活動を行いました。各グループが1, 2回目の成果や反省を生かして様々な工夫をした活動を行うことができました。「ごみを拾って日野市をきれいにする活動」から始まったグループは、そのきれいな状態を保つためにポスターを作成しました。また、「本屋さんのお手伝いをする活動」から始まったグループでは、本の紹介を書き、本屋さんに貢献したいという思いをもつことができ、様々な活動とおして子供たちの成長が感じられました。

活動を終えて、「これからも日野市のためにできることを考えていきたい。」と振り返る子供が多く、3回の活動は子供たちにとって充実した活動となりました。

4 年生 体育「ティーベースボール」



4年生は体育の学習で「ティーベースボール」に取り組んでいます。ティーに乗せたスポンジボールを大きく飛ばしたり、小さく打ち出したりして、相手の守りを考えながら得点を競い合っています。守る側も素早くボールを取り、近くのアウトゾーンへ声を掛け合って集まる姿が見られるなど、チーム一体となって試合に取り組んでいました。

5 年生 社会科見学に行ってきました！



12月13日に社会科見学へ行ってきました。

NTT 技術史料館では、電話がどのようにして生まれたのか、情報はどのようにやりとりされるのかなどについて、史料館の方から話を聞きました。今は当たり前のように使っている電話やインターネットの仕組みに興味津々でした。

多摩六都科学館では、人の体の仕組みや地球の成り立ちなどについて展示を見たり、体験したりしながら学びました。科学の不思議さや生き物の面白さを楽しく学びました。

気持ちの良い挨拶や集団で行動するうえでの態度などを意識して過ごすことができ、とても立派でした。

6年生 練習の成果を出し切った連合音楽会



3年ぶりに日野市立小学校連合音楽会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるために、3部制の2日間開催、そしてステージ上でも歌唱時はマスク着用でした。

6年生は、工事の関係で体育館での合同練習ができな
い中でも、音楽室での2学級合同練習や校庭での全体練習、そして各学級での合唱練習と、できることを精一杯やってきました。さらには朝の時間や休み時間のパート別練習等、実行委員を中心に本当によく頑張ってきました。本番当日は緊張している様子も見られましたが、ステージでは練習の成果を出し切ることができました。また、入場や退場、鑑賞のマナーも素晴らしかったです。また一つ、行事をとおして大きく成長することができました。

算数少人数 3年「重さの単位と量り方」



3年生で「重さの単位と量り方」の学習に取り組
み、天秤や秤を使った重さの量り方、t(トン)、kg
(キログラム)、g(グラム)の単位の読み方や表し方
を学び取っていました。

重さを量るために使う1円玉や秤の扱いに最初は戸
惑いながらも、学習が進むにつれて、もっといろいろ
と量りたいと意欲的に取り組む様子が見られました。

秤を使ったり、「この重さはどのくらいかな」と予想
してみたりすることで、重さに関する感覚も豊かにな
ってきます。ご家庭でもお子様とそんな取組をしてい
ただれればと思います。